

## 労働運動における社会民主主義者の任務

社会民主主義派は労働運動に奉仕するだけのものではない。社会民主主義者は（『共産党宣言』の基本思想を再現しているK・カウッキーの定義を借用すれば）「**社会主義と労働運動との結合**」である。社会民主主義派の任務は、自然発生的な労働運動のなかへ明確な社会主義的な理想をもちこみ、この運動を社会主義的信念——それは、現代の科学の水準に立つものでなければならないに——結びつけ、またそれを、社会主義の実現手段としての、民主主義をめざす系統的な政治闘争に結びつけることである。一言でいえば、この自然発生的な運動を**革命党**の活動と一つの切りはなすことのできない全一体に融合させることである。（第四巻 わわれれの当面の任務 P232、1899年の後半に執筆）

## コメント

社会民主主義者は「**社会主義と労働運動との結合**」体になろう！  
学び、宣伝し、組織しよう！